

第13回伊賀市少子化対策推進委員会議事概要

会議名 : 第13回伊賀市少子化対策推進委員会

開催日 : 平成23年5月19日(木) 13:30~15:30

開催場所 : ゆめぼりすセンター2階 大会議室

出席委員 : 中西智委員、若山委員、八尾委員、平井委員、森岡委員、的場委員、
三木委員、藤本委員、竹内委員、窪田委員、中島委員

(合計11名)

▲司会

皆様、お待たせいたしました。

ただいまから第13回伊賀市少子化対策推進委員会を開会いたします。本会議は、「伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）の進捗状況について」を、委員の皆様にご協議いただくことを議事として、第13回目の委員会を予定いたしております。

この委員会は、伊賀市情報公開条例第35条に基づき、会議の公開を行いますことと、審議会等会議の公開に関する要項第6条に基づく議事概要（会議記録）作成のため、録音をさせていただきますのでご了承賜りたいと存じます。

議事に入ります前に、本日の資料の確認をお願いしたいと思います。

本日の資料は、事項書と資料1「伊賀市少子化対策推進委員会条例」のほかに資料2「次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）平成22年度事業進捗状況調書」がございます。なお、資料に不足がございますれば、事務局へお申し出ください。

本日の会議ですが、全委員15名のうち、11名の委員の皆様がご出席をいただき、半数を超えておりますので、会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。

また、関係団体の役員改選により、新しい委員にご就任いただいておりますので、ご紹介いたします。

資料1伊賀市少子化対策推進委員会条例の3頁、委員名簿をご覧ください。

ふくざわてるえ
伊賀市PTA連合会から福澤央江委員に代わりまして、みきかずえ
三木和恵

いまたかひとみ
様、保育所（園）保護者会から今高一美委員に代わりまして、あや

もりしたみつはる もちづきゆみこ
ま保育所保護者会の森下光晴様、望月由美子委員に代わりまして、

みぞぐちあきこ すぐりふみこ
ゆめが丘保育所の溝口朱子様、伊賀市商工会から村主文子委員に代

やまおちえこ

わりまして、山尾智恵子様にご就任いただいております。

つづきまして、事務局の紹介をさせていただきます。

健康福祉部長の増田でございますが、所用により欠席させていただいております。私、こども家庭課長の秋永でございます。よろしくお願ひします。

また、事務担当として、管理係の田中でございます。同じく上田でございます。今後もこの伊賀市少子化対策推進委員会条例に基づきまして運営してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、はじめに、委員長からご挨拶申し上げます。

■委員長

よろしくお願ひします。

それでは、会議に入ります。

4つの項目があり、項目ごとに説明をお願いします。

事項書の(1)「伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）の進捗状況について」「I地域における子育て支援の充実」を議題とします。

事務局から説明してください。

※事務局

「伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）の進捗状況について」ご説明申し上げます。

この次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）は、子どもを生き育てやすい環境づくりと子どもの健全育成を目指し、平成22年度から平成26年度の5年間に行政が地域や企業と連携して、子育て家庭を支援していく取り組み事業について定めております。

委員の皆様には、事業の進捗状況につきまして、毎年、検証、評価としてご意見をいただきながら、施策を進めてまいりますのでよろしくお願ひします。

それでは、一つ目の基本課題であります「I地域における子育て支援の充実」についてご説明申し上げます。資料2「平成22年度事業実績調書」の1頁をご覧ください。

病後児保育事業では、年間162名の利用となり増加しています。

ショートステイ事業は、名張市の児童養護施設に委託し、3名の利用となっております。こんにちは赤ちゃん事業では、訪問率として96%、2頁ですが1回の訪問で終るのでなく196件の継続実施をしています。

ファミリーサポートセンターでは、会員数が301人となり年間1,444件の利用と増加しています。上野市駅前の地域子育て支援センターの整備では、平成24年4月の開設に向け現在整備を進めております。

3頁の放課後児童クラブの整備では、待機児童解消のため、昨年7月に伊賀市社会事業協会さんの協力をいただき児童クラ

ブ「オーロラ」を開設しておりますが、同じ西小学校区の児童クラブ「レインボーうえの」の施設の老朽化も踏まえて、本年度に新たな放課後児童クラブの建設を進めています。

子ども手当については、本年9月までの支給となっており、10月以降は現在未定となっております。

4頁の乳幼児インフルエンザ予防接種費用では、2,400人に助成をしています。

5頁からの保育所(園)・幼稚園の状況では、4月1日現在入所児童数は、保育所(園)36園で2,586人、幼稚園1箇所で180人となっております。保育所(園)の3歳未満児の入所は722人となっており、待機児童は25人となっております。

6頁では、延長保育、預かり保育、休日保育、低年齢児保育の実績、7頁では、障害児保育、家庭支援推進保育、夜間保育、一時預かり事業の実績、8頁では、相談事業などの子育て支援事業の実績となっております。

9頁から13頁までは、保育の質の向上として、研修事業や家庭への支援事業、地域との交流事業の実績となっております。

14頁から15頁では、保育所(園)の再編整備として、昨年度みどり保育園・かしのみ園の改築を行い、本年度から定員150名を200名に増員しております。また、公設民営のゆめが丘保育所につきましては、本年4月から民設民営の施設として、引き続き伊賀市社会事業協会さんへ運営をお願いしています。

昨年度、保育所(園)の統合や施設の耐震化については、大山田地区、比自岐地区、依那古地区、神戸地区、島ヶ原地区と各保育所(園)の保護者に説明を行っており、今後も協議を続けていく予定で進めています。

また、本年度は、依那古第2保育所と島ヶ原保育所遊戯室の耐震工事を予定しています。

16頁から19頁には、子育て支援サークル活動や公民館活動、スポーツ活動、子ども会活動、民生委員活動への支援や連携の取り組みの実績となっております。

20頁から23頁のひとり親家庭等自立促進計画では、保育所(園)や放課後児童クラブの優先入所などの支援の実績ですが、20頁一段目の保育所(園)の母子世帯児童数実績値が漏れていますので、実績値と5年間の計は「189」、単年度達成率は「145.4%」で5年間の計の達成率は「28.2%」と記入、修正をお願いします。

21頁は生活支援事業の実績、22頁は児童扶養手当の支給として728件、医療費助成は1,865人の登録者に対し、記載の助成を行っています。

続いて、24頁から25頁には、児童虐待に関する取り組みの実績、26頁から27頁には、障害児施策の取り組みの実績を記載しておりますが、26頁の療育支援事業の充実では、昨年度、みどり保育園・かしのみ園の改築を実施し、障害児療育保育の充実を行うとともに、本年4月から障害のある小学生の受入を行う日中一時支援事業「ヴェ

ルデ」を開設しています。また、経済的支援として特別児童扶養手当や医療費の助成をしています。

27頁では、子ども発達支援センター事業として1,387件の相談など支援を、障害者相談支援センター事業として8,532件の相談を実施しています。

以上が、基本課題1地域における子育て支援につきましての説明とさせていただきますので、ご審議賜り、ご意見、ご質問等よろしくお願ひ申し上げます。

■委員長

説明に対しご質疑、ご意見ありませんか。

◎委員

14ページの認定こども園の進捗状況と保護者の意見はどうか。方向性は。

※事務局

再編の説明のときに説明はさせていただきましたが、国の制度が決まっていないので、現状として具体的にはなっていません。

◎委員

6頁の、低年齢児について達成率が100%になっていますが、3歳～5歳のこどもであれば、預かれるが、低年齢児は、入れない状であるときいていますが。

※事務局

全36園で行ってはいますので100%になっていますが、実際は、保育所の面積や、保育士の配置などにより、低年齢児の待機児童もでていています。対策として、保育所の再編整備をすすめています。

■委員長

次に「伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）の事業の進捗状況について」II親子の健康確保と増進」を議題とします。事務局から説明してください。

※事務局

「伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）の進捗状況について」次に、基本課題「2親子の健康確保増進」について、説明申し上げます。28頁をご覧ください。

妊娠・出産の安全確保として、妊婦健康診査の受診率の向上で21年度の91.4%から平成22年度では99%の実績となっているほか、訪問指導や保健指導によりフォロー体制の充実を行っています。

29頁の乳幼児健康診査では、満4か月児で714人が受診し、受診率99%、満10ヶ月児で650人が受診し、受診率97%の実績となっています。30頁ですが、満1歳6ヶ月から2歳未満児では受診率92.6%から96%に、3歳6か月から4歳未満時で受診率が92%から93%になっています。また、3歳でう歯のない子の率は72%となっています。31頁ですが、母子手帳交付時の相談として、841件など乳幼児相談の実施によりフォロー体制の充実を行っています。

32頁から33頁では、不妊治療に対する補助や家庭における事故防止の啓発についての実績となっています。

食育の推進として、34頁では、母子健康手帳交付時の食事指導や離乳食教室を8回開催し、115人に参加いただいています。35頁から36頁では、保育所(園)や小中学校での活動実績となっています。

37頁から38頁では、思春期の保健対策として、いのちの育み教室の開催や小中学校の取り組み実績となっています。

39頁からの小児医療の充実では、伊賀市応急診療所の充実として、受診者数が3,605人、うち二次救急搬送者数は113人となっています。また、入院を必要とする二次救急については、岡波総合病院で年間を通じた診療体制を確保しています。

医療に関する情報提供では、救急相談ダイヤル24事業を平成22年7月に導入し、各種相談を受けています。

最後に、40頁ですが、小児医療に関するパンフレットの配布実績や乳幼児医療費の助成実績となっています。

以上が、基本課題2親子の健康確保増進につきましての説明とさせていただきますので、ご審議賜り、ご意見、ご質問等よろしくお願い申し上げます。

■委員長 質疑などありませんか。

◎委員 30頁の1歳6ヶ月と、3歳6ヶ月検診を連続して未受診となっている人はいるのか。そのようなチェックはどうしているのか。

健康推進課 検診日が都合悪い場合やどうしても受けられない場合は、未歳児相談があるので、漏れがないようにしている。個人的に病院で受ける方もいるし、案内を何度もさせてもらって対応しています。

◎委員 34頁の乳幼児のクッキング、22年度は実施されていなかったが、今年度は実施するのですか。

健康推進課 いがまち保健センターでは、今後、子育て支援センターとタイアップして事業を開催していきます。

◎委員 連絡をしても、受けない人はいるのですか。ネグレクトの可能性も心配です。

健康推進課 なかなか、検診を受けてくれない人もいますが、保育所にも発達支援センターが入ってくれているので、様子を把握してくれているし、保育所(園)に通っている子どもについてもなんらかの形で関わっていただけますが、そのほかの子どもについては、注意をしていきたいと思っています。

※事務局 (1)「伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)の進捗状況について」

次に、基本課題3「教育環境の充実」について、説明申し上げます。
41頁をご覧ください。

次代の親の育成としまして、中学生の訪問、交流活動や中学生の職場体験学習の実績、42頁は小中学校のキャリア教育についての取り組み実績となっています。

43頁ですが、一人ひとりの能力を伸ばす教育の推進として、少人数加配教員を活用した取り組みや特色ある学校教育推進事業の実績となっています。

44頁には、ALTの派遣として、小学校25校にALT2人、中学校11校にALT4人を派遣しています。45頁では、全小中学校へ電子黒板や大型テレビを配置しています。また、全小中学校で到達度診断調査を実施しています。

46頁から47頁には、豊かな心と健康な体の育成として、人権同和教育の取り組みや福祉教育の取り組み、環境学習やスポーツ活動の取り組み実績となっています。48頁から49頁では、学校保健活動などの取り組み実績となっています。

50頁から53頁では、一人ひとりの子どもに対するケアの充実として、伊賀市教育研究センターふれあい教室の活動実績や外国人の子どもに対する支援実績となっています。

54頁は、特別支援教育の実績となっています。
55頁では、上野南中学校校舎建築工事の着工や、上野北部地区小学校校区実施計画検討協議会と阿山地区小学校再編検討協議会の開催実績となっています。56頁から57頁では、上野南中学校、上野西部地区小学校区、上野南部地区小学校区、上野北部地区小学校区において、検討協議会や説明会を開催しています。また、緑ヶ丘中学校、新居小学校、神戸小学校、大山田中学校の耐震化の取り組みなどとなっています。

58頁・59頁には、学校と地域との連携として、学校評議員の設置、manifestoの作成、ゲストティーチャー事業、高齢者福祉施設訪問などの実績となっています。

60頁では、家庭や地域の教育力の向上として、輝けいがっ子憲章フォトコンテストの実施、早寝早起き朝ごはん運動の実施、61頁には、男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2010」の開催と情報誌「きらきら」の発行、父親の料理教室などの実績となっています。62頁には、いがまち公民館、あやま公民館、大山田公民館、63頁には上野公民館での各種教室、講座、イベントの実績や情報提供の実績となっています。

64頁から68頁までの5頁わたっては、地域子育て支援センター・保育所(園)幼稚園などの取り組み実績となっています。

69頁・70頁では、子どもを取り巻く有害環境対策として、青少年センターの活動、有害図書のパトロール、学校での携帯電話やインターネットの利用に対する取り組み実績となっています。

71頁には、児童の健全育成、子どもの居場所づくりとして、しろなみ児童館の教室や交流事業の実績、72頁から77頁までの6頁に

わたっては、まえがわ児童館、老川児童館での教室の開催や交流事業の実績となっています。

78頁・79頁には、図書館やいがまち公民館、島ヶ原公民館、あやま公民館、大山田公民館、青山公民館の絵本の読み聞かせの実績となっています。

79頁の最後から81頁までは、公園の維持、管理の実績や体育館・グラウンドのスポーツ活動への開放実績となっています。

82頁から87頁までの6頁にわたっては、子どもの活動支援として、市内の6つの公民館の文化活動への支援実績とスポーツ少年団活動への支援実績となっています。

以上が、基本課題3教育環境の充実につきましての説明とさせていただきますので、ご審議賜り、ご意見、ご質問等よろしくお願い申し上げます。

■委員長 ネット犯罪とは、具体的にこういった犯罪を受けているのですか。

学校教育課 有害サイトへアクセスしたり、書き込みをしりするのを防止しています。学校、保護者が協力して、フィルタリングをしている。

■委員長 フィルタリングをしたり、書き込みは犯罪だということはわかっているが、私たちが防ぐ方法はないのでしょうか。

学校教育課 各学校へ携帯電話を1台配布しており、モニタリングをしている。書き込みのチェックをしています。チェック等はしているが、保護者の方に子どもに携帯を使用させるというのは子どもに危険を与えることになるということを認識してもらうように訴えていくことが大事だと考えます。

◎委員 スクールカウンセラーの利用状況はどうでしょうか。

学校教育課 使用状況については、全中学校に配置し、相談件数は1,000程度の単位で利用度が高いです。小学校は3小学校へ配置しています。教育センターに2名のスクールカウンセラーの配置をしています。2名のスクールカウンセラーの利用状況についても1,000単位です。

◎委員 大型テレビを使ってどのようなことをしているのか。

学校教育課 電子黒板についてすべての小・中学校へ1台設置しています。一定のスキルが必要になっていますが、久米小学校で、公開授業をしたりして、今後も有効活用できるようにしていきます。

■委員長 次に「伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）の事業の進捗状況について」の「IV成長支援のための生活環境の整備」を議題とします。

事務局から説明してください。

※事務局

(1)「伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画（後期計画）の進捗状況について」最後に、基本課題4成長支援のための生活環境の整備について、ご説明申し上げます。

88頁・89頁をご覧ください。

子育てを支援する生活環境の整備として、現在3箇所ございます若年層定住及び子育て支援住宅や市営住宅の維持管理の実績、道路や歩道の整備実績や予定となっています。また、90頁では、旧ふたば幼稚園跡地を広場に整備する事業と子育て支援施設や市内の公園を紹介する情報発信の取り組みとなっています。

91頁には、子どもの安全確保として、通学路の安全に対する取り組み、街頭指導や意識啓発についての取り組みとなっています。

92頁・93頁には、学校と地域や関係機関と連携した防犯対策に関する取り組みとなっています。94頁では、防災ほっとメール「あんしん・防災ネット」により情報発信を行っています。

95頁では、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現のための取り組みとして、ワークライフバランスセミナーの開催し、24社、39名の参加をいただいております。企業訪問を通じた情報提供、企業内託児所の指導啓発を行っています。

最後に、96頁では、企業が策定する一般事業主行動計画の啓発、中学生の職業観、勤労観の育成、インターンシップの受入啓発などの取り組みとなっています。

以上で、基本課題4成長支援のための生活環境の整備につきましての説明とさせていただきますので、ご審議賜り、ご意見、ご質問等よろしくお願ひ申し上げます。

■委員長

ご質問等ありませんか。

◎委員

インターンシップの件ですが、伊賀市内の企業については受入れを協力していただいておりますが、名張市の企業の協力体制を行政同士でお願いしたいと思ひます。

商工労働観光課

行政において、働きかけはできると思ひますが、商工会議所同士の働きかけもお願いして、両方で働きかけていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

■委員長

冊子を作成するだけが計画ではないので、事業項目を進めていくことが大事だと思ひます。また、市民の皆さんにどうひ計画かわかってもらうことが大切だと思ひますが、どうでしょう。

※事務局

計画ですが、前期5年間、後期5年間、ずっと続いていく計画ですので、議事録等ホームページに掲載させてもらっています。

また、個々の事業については、広報誌やホームページなどで案内・啓発させてもらっています。

実践できていない事業もあるので、委員会でも意見を聞きながら施策を進めていき、5年間でどのように達成できるかを考えています。
今年度はその1年目となっていることで今後もよろしく申し上げます。

◎委員 4月から小学校の日中一時支援について教えてください。

障がい福祉課 障がい児が対象の障がい福祉サービスです。障がい児を受入れるところが少ないので、障がい福祉サービスとして、今年からかしのみ園をお願いをして受けていただけることになりました。

平日の放課後も開設しています。

長期休暇については、阿山の保健福祉センター「あいあい」でも受け入れさせてもらいます。指導員についても、臨時講師の方やボランティアという形で民生委員に協力をお願いさせていただきます。

◎委員 SOSの家の旗は、どんな形でお願いしているのですか。

学校教育課 いろんなケースがあるのですが、地域の方が声をあげていただけるケースや地域によって校長が頼みにいっているところや、手をあげてくれる人に渡している地域など、依頼方法はさまざまです。

◎委員 保育所の再編整備・耐震化についての今後の計画について教えてください。

※事務局 耐震化ですが、国からの指導では、昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた施設が対象となっています。伊賀市の保育所（園）では、耐震補強だけでなく、みどり保育園も対象園で改築を実施しました。22年度は公立保育所で2園の補強を実施する予定です。順に耐震化を進めていきたいと考えます。

耐震化が低いとなると工事が完了するまで子どもの安全を考えなくてはならず、場合によっては仮園舎も必要ですので、保護者の方の十分な理解を得て、耐震化を進めていかないといけないと考えています。

◎委員 ふたば幼稚園の跡地の学童保育園についてと、中心市街地の道路工事についてはどうなっているのですか。

建設1課長 市駅前近辺、銀座通りについてのバリアフリー化についてですが、交通量が多いので、夜間に工事をするので地域の方に説明に行かせてもらう予定です。

- こども家庭課 旧ふたば幼稚園の跡地については、新しい放課後児童クラブの建設を中心市街地活性化推進室と協議を行い、秋をめどに進めています。
- ◎委員 図書館の展望についてはどうですか。
- 教育総務課 施設の関係では、狭くなってきているのはご承知のとおりです。隣接地に拡充できるように取り組んでいるところです。
- 生涯学習課 図書拡充については毎年させてもらっています。阿山・大山田・青山の公民館に図書室を設けております。インターネットを通じて、増書の本が確認できるようになっております。
- 委員長 個人で、読まなくなった本はどうしたらいいのですか。
- ※事務局 地域や学校が呼びかけて、集めている地域もあります。
- ◎委員 伊賀市の小・中学生は、ビデオをみる時間・ゲームにあてる時間が長い、夜寝る時間が遅く、休日勉強する時間が短いと言われているのですが、行政からの働きかけが必要ではないでしょうか。
- 学校教育課 校長会でも協議をしたり、家庭学習のてびきを作成するなど保護者とともに協力していきたいと思っています。
- ◎委員 学校からももっと保護者に働きかけてほしいと思います。
- 委員長 全部が行政、全部が学校というのではなく、保護者が働きかけていくのも大事だと思います。
- ◎委員 (仮称)西部地区小学校とかくと、西小学校とまちがえることがあるので、変えていただけたらと思いますが。
- 教育総務課長 再編計画で名前は、変更できませんので、ご了承ください。
- 委員長 他にありませんか。無いようですので、これをもちまして会議を終了させていただきます。長時間慎重審議ありがとうございました。
- ※事務局 長時間ありがとうございました。その他の項ですが、次回の予定が決まり次第連絡させていただきます。
本日は、ありがとうございました。